

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2025 年 7-9 月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 300 社から回答があった。景況判断 DI は▲20 となり、前期調査から 2 ポイント悪化した。来期の見通しは▲16 となり、4 ポイント改善する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も高く、「従業員の不足」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感 DI の内訳

前期(2025 年 4-6 月)に対して、

- ・売上高 DI は▲3 で、11 ポイント改善
- ・処理量 DI は▲4 で、8 ポイント改善
- ・営業利益 DI は▲8 で、6 ポイント改善
- ・資金繰り DI は▲1 で、1 ポイント改善
- ・借入難易度 DI は 12 で、2 ポイント悪化
- ・設備投資 DI は 8 で、3 ポイント改善
- ・従業員数 DI は 1 で、5 ポイント悪化
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 7 で、5 ポイント悪化
処分が 7 で、7 ポイント悪化

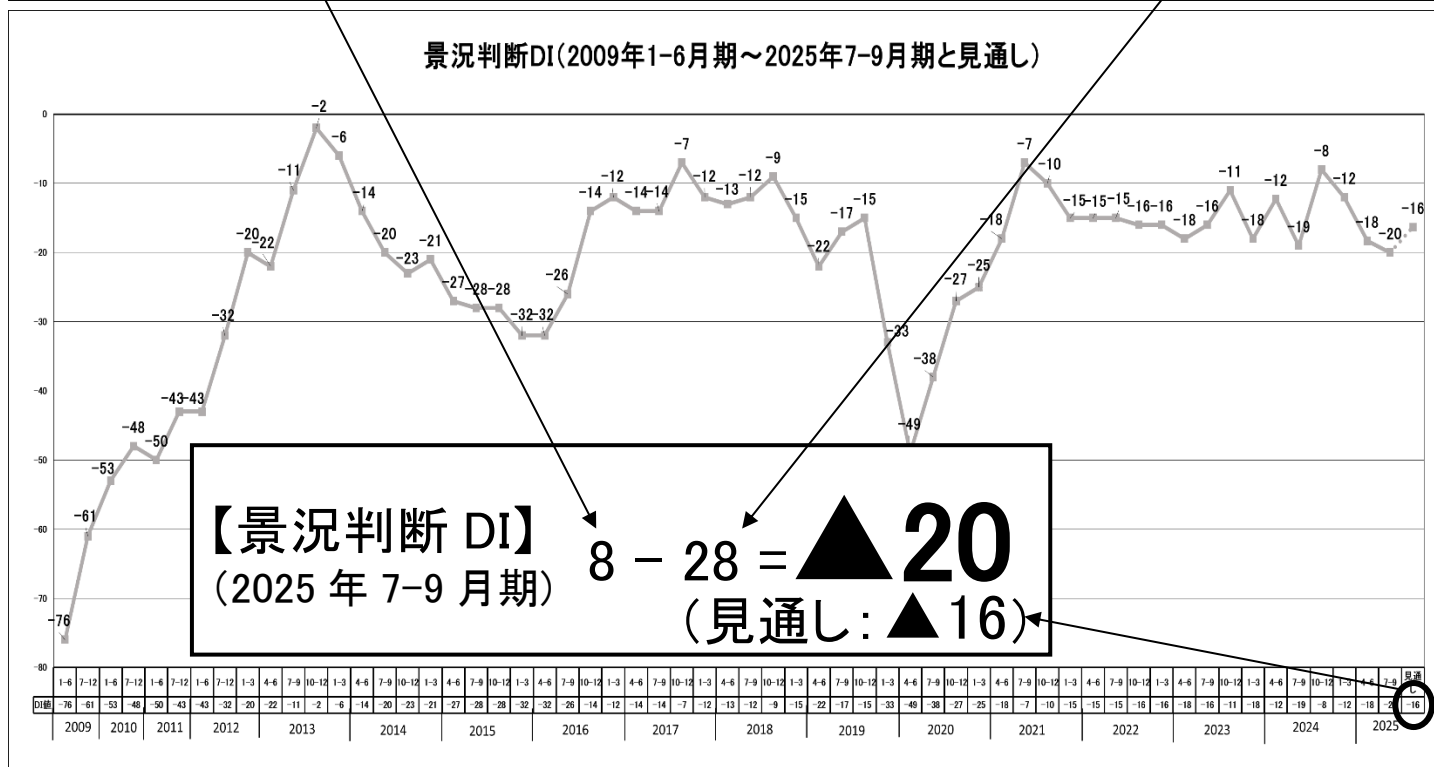
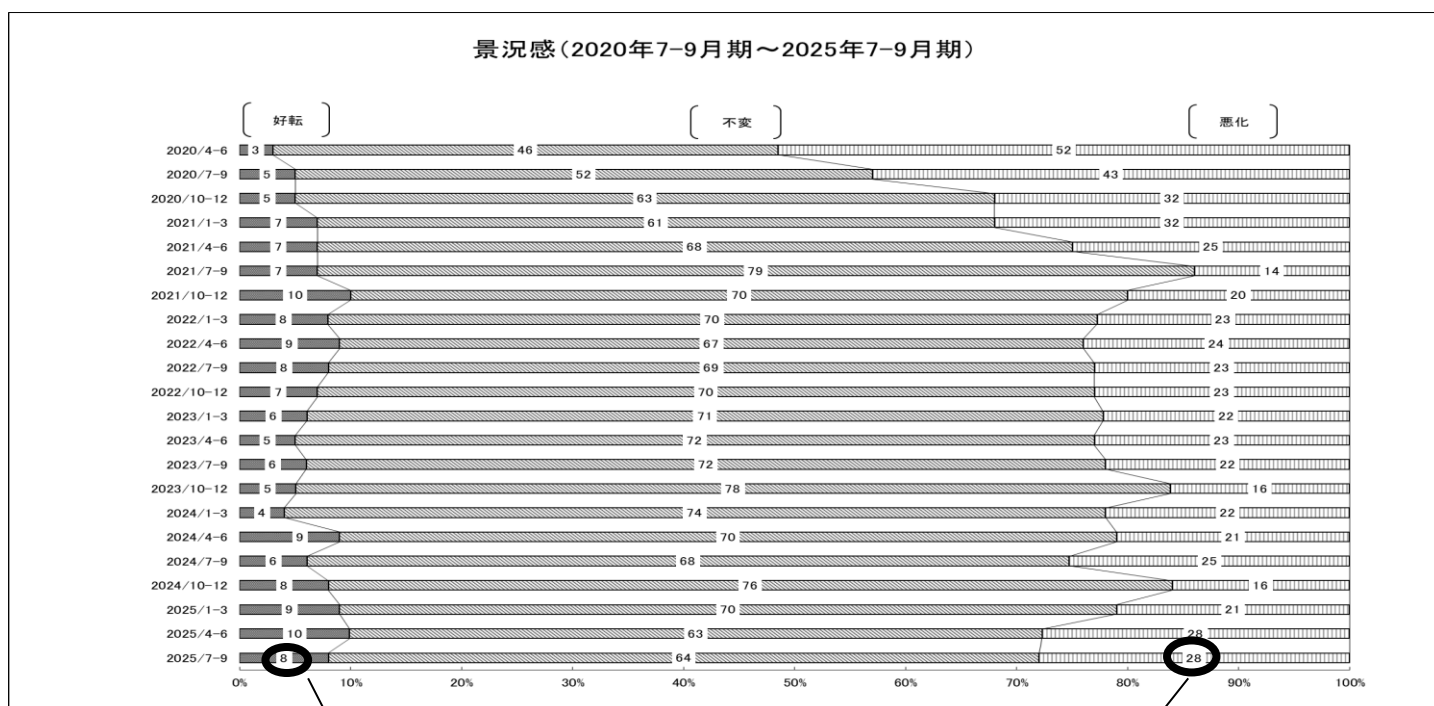
- 売上高の動向については、前年同期比で 4.3%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で 24.9%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で 3.2%増となった。

※DI とはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

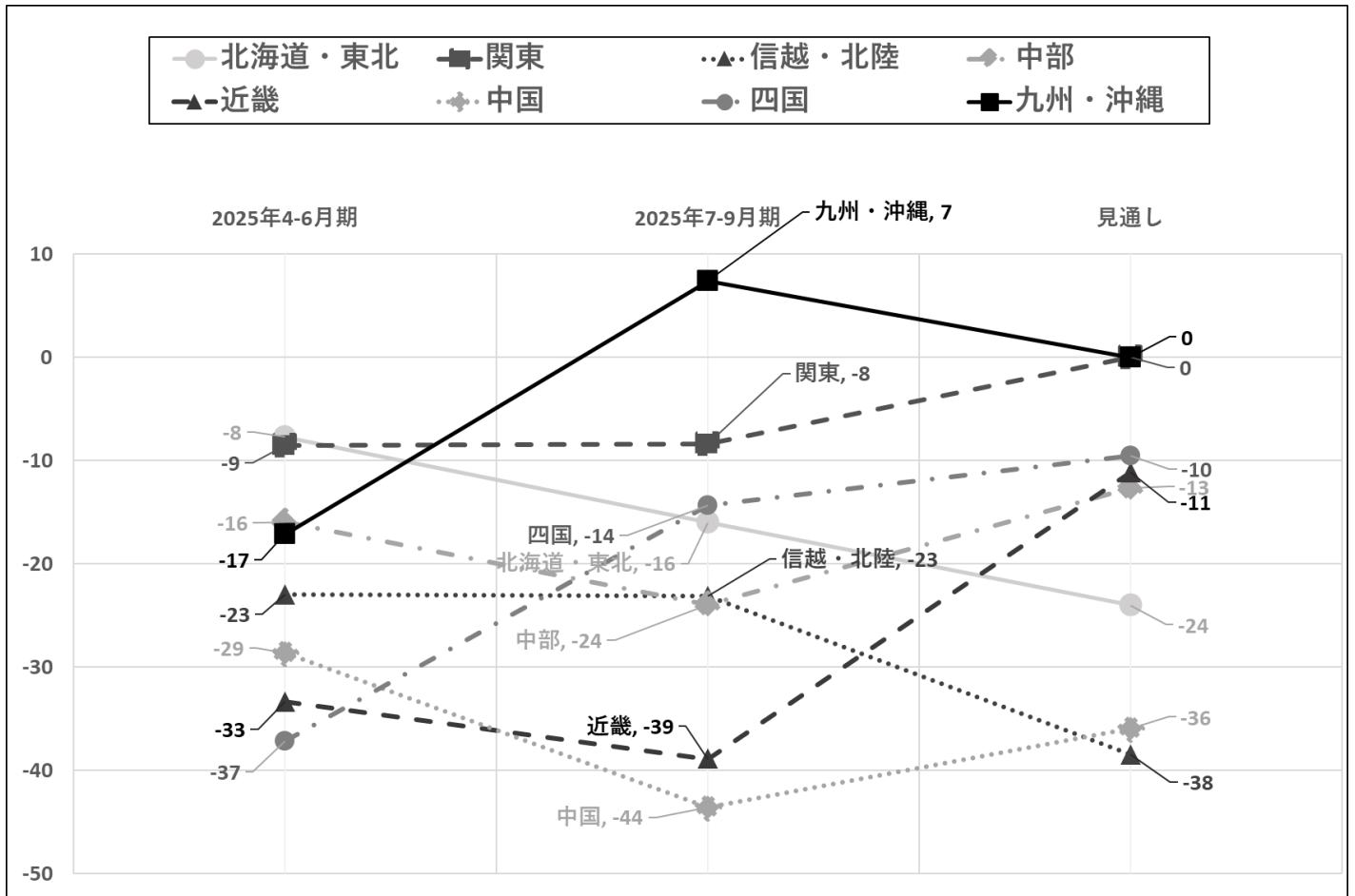
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲20 となり、前期から 2 ポイント悪化した。
見通しは▲16 となり、4 ポイント改善する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「関東」、「四国」、「九州・沖縄」が改善した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「関東」、「中部」、「近畿」、「中国」、「四国」が改善する見込みとなっている。(3 ページ参照)



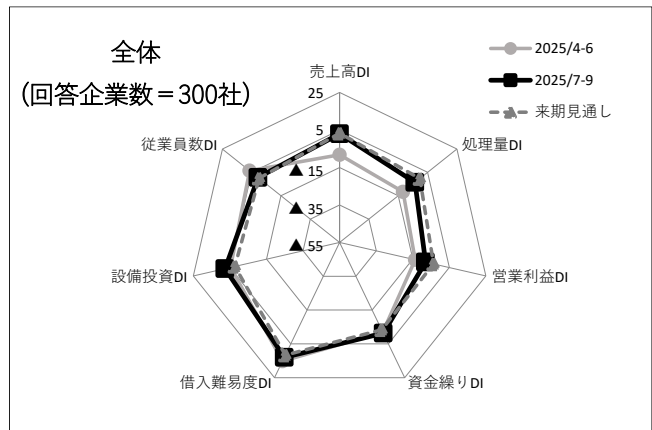
地域別景況判断 DI



	全国	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2025年4-6月期	-18	-8	-9	-23	-16	-33	-29	-37	-17
2025年7-9月期	-20	-16	-8	-23	-24	-39	-44	-14	7
見通し	-16	-24	0	-38	-13	-11	-36	-10	0

(2)売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

- 前期から「借入難易度 DI」、「従業員数 DI」が悪化した。
- 見通しは、「処理量 DI」、「営業利益 DI」が改善する見込みである。

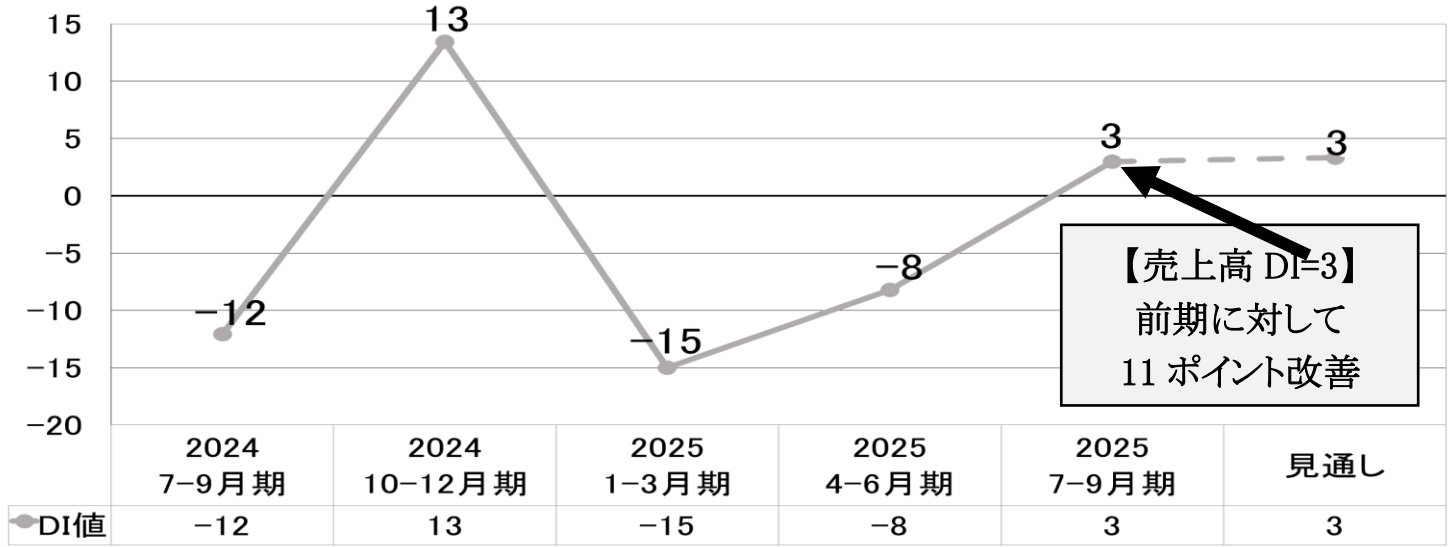


以下詳細(5～7 ページ参照)

- ・売上高 DI は 3 となり、前期と比べて 11 ポイント改善した。
見通しは 3 となり、同水準となる見込み。
- ・処理量 DI は▲4 となり、前期と比べて 8 ポイント改善した。
見通しは 0 となり、4 ポイント改善する見込み。
- ・営業利益 DI は▲8 となり、前期と比べて 6 ポイント改善した。
見通しは▲4 となり、4 ポイント改善する見込み。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは▲3 となり、2 ポイント悪化する見込み。
- ・借入難易度 DI は 12 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは 12 となり、同水準となる見込み。
- ・設備投資 DI は 8 となり、前期と比べて 3 ポイント改善した。
見通しは 2 となり、6 ポイント悪化する見込み。
- ・従業員数 DI は 1 となり、前期と比べて 5 ポイント悪化した。
見通しは 0 となり、1 ポイント悪化する見込み。

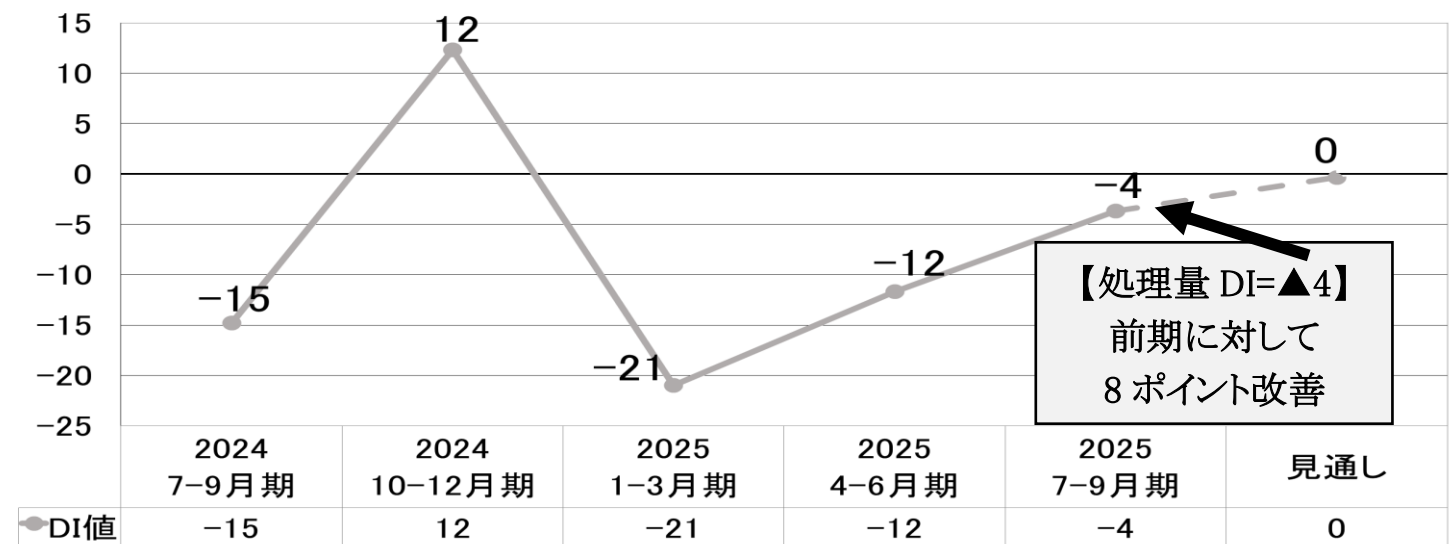
売上高DI

(2024年7-9月期～2025年7-9月期と見通し)



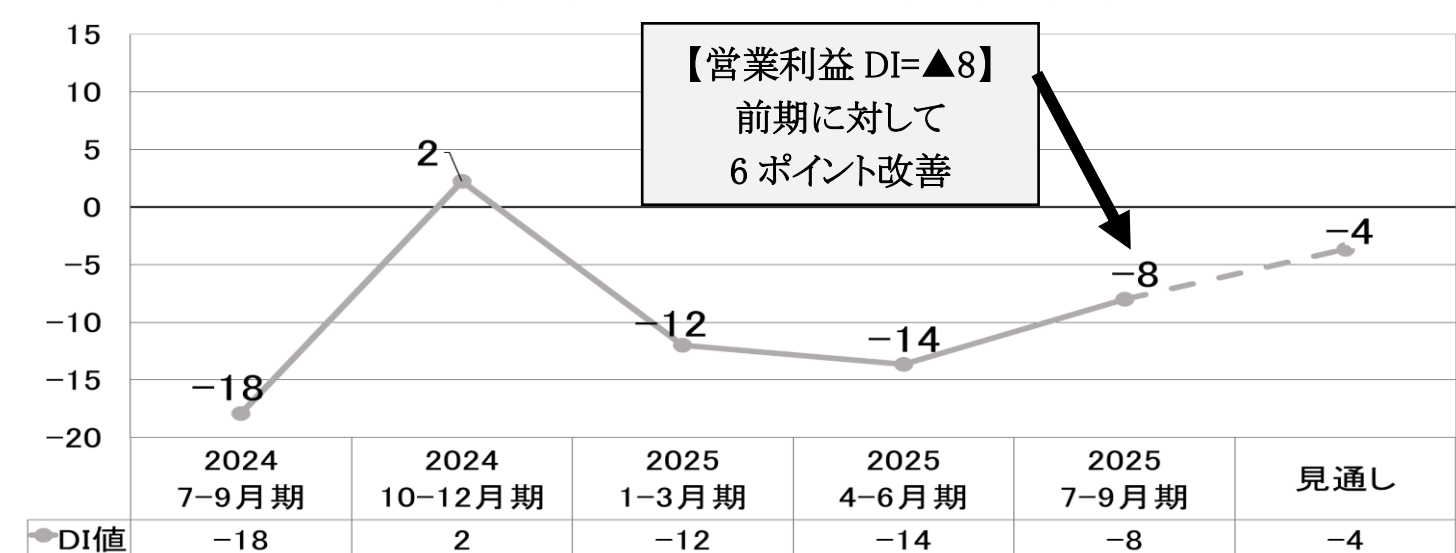
処理量DI

(2024年7-9月期～2025年7-9月期と見通し)

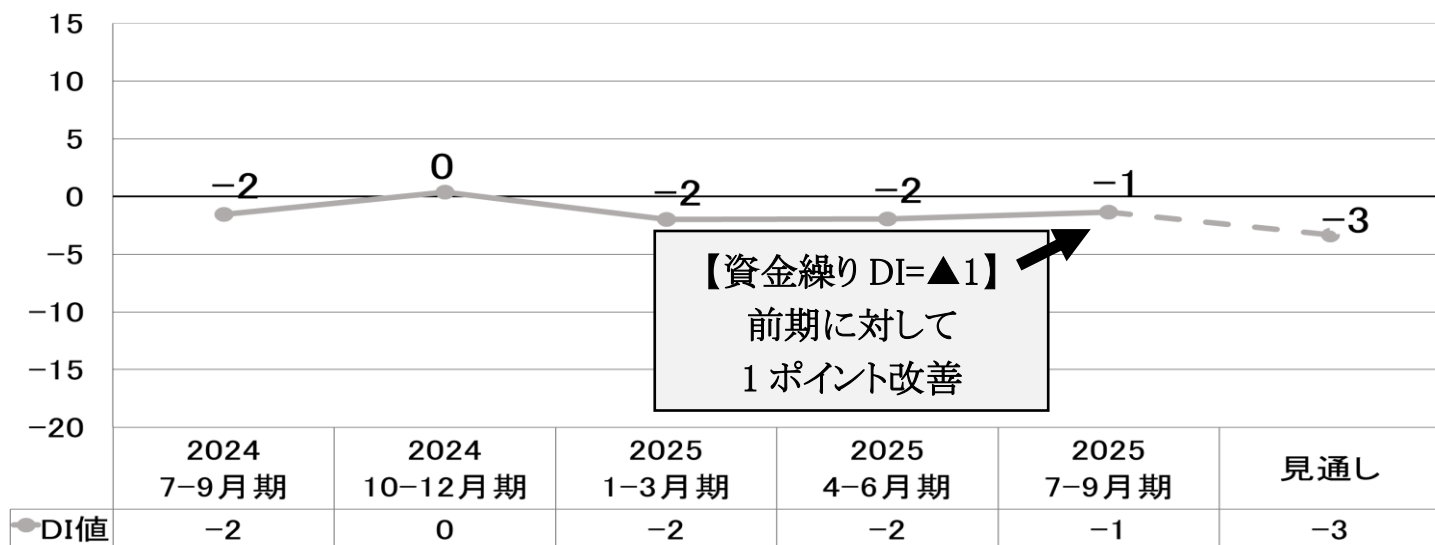


営業利益DI

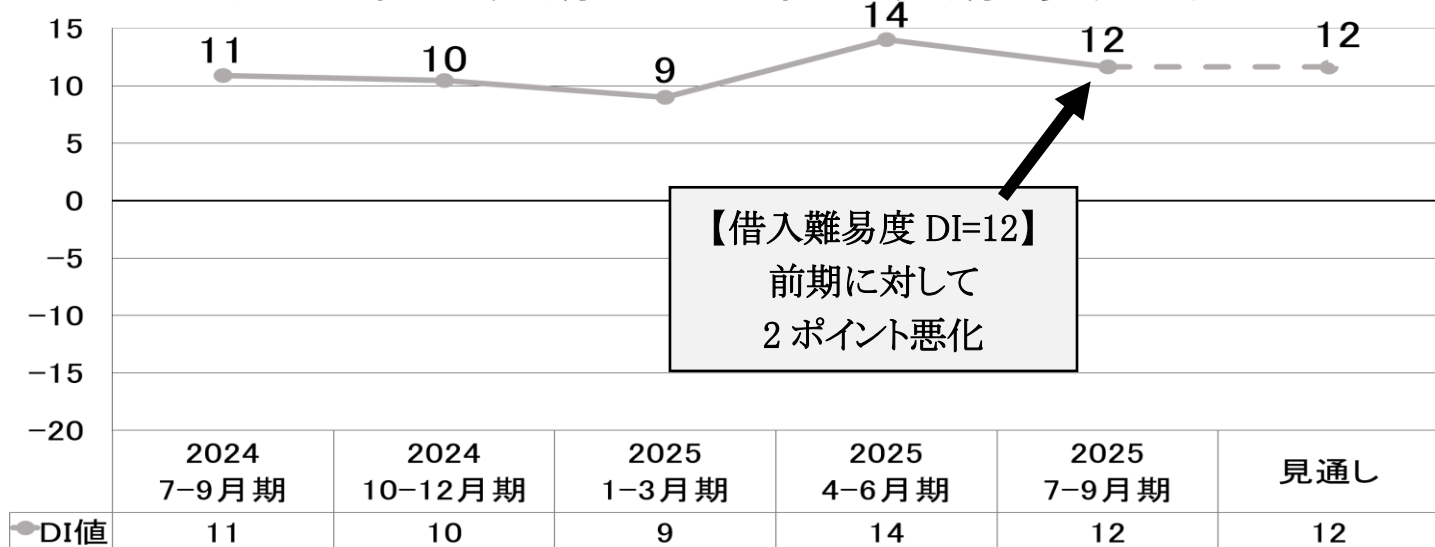
(2024年7-9月期～2025年7-9月期と見通し)



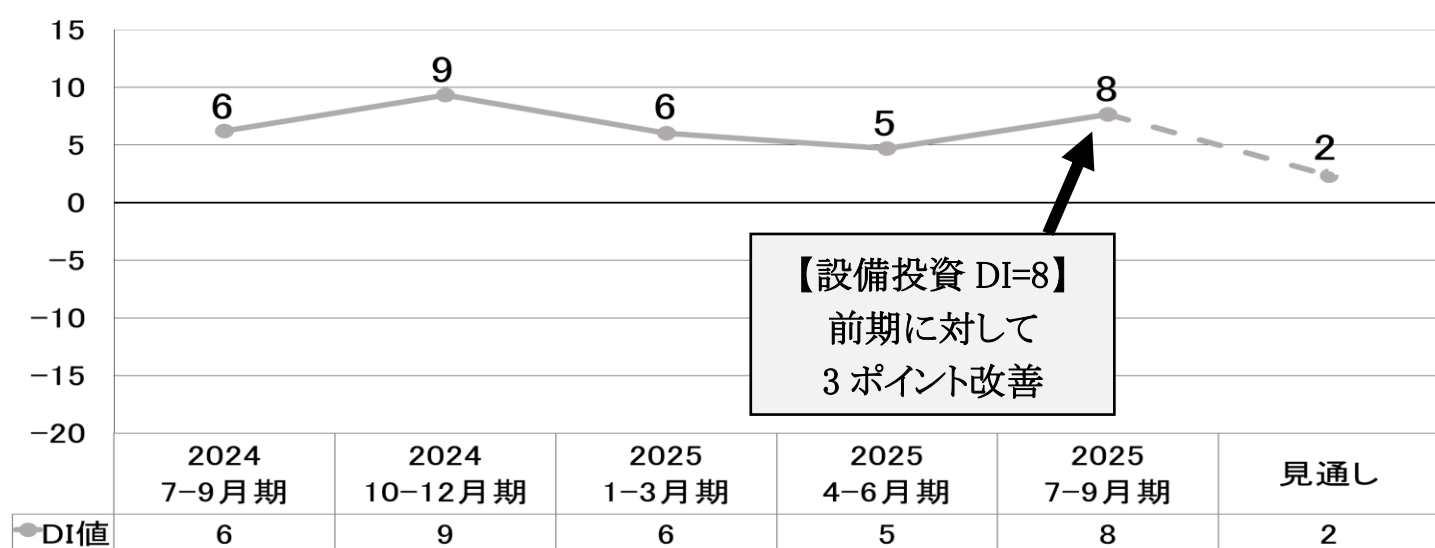
資金繰りDI (2024年7-9月期～2025年7-9月期と見通し)



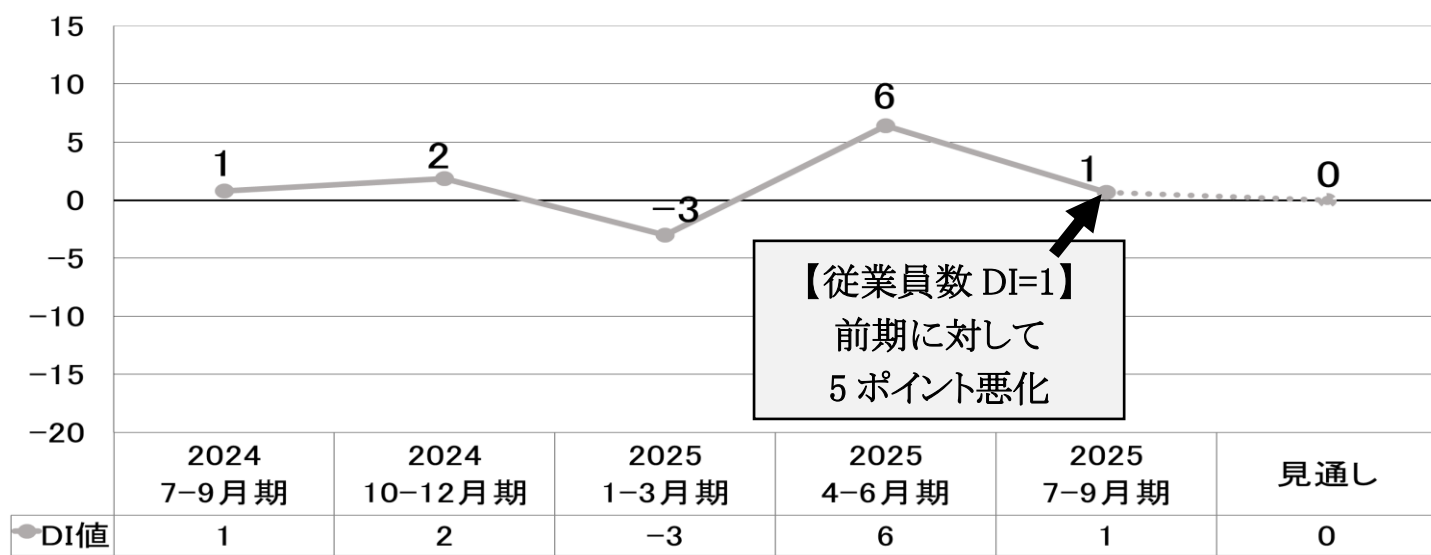
借入難易度DI (2024年7-9月期～2025年7-9月期と見通し)



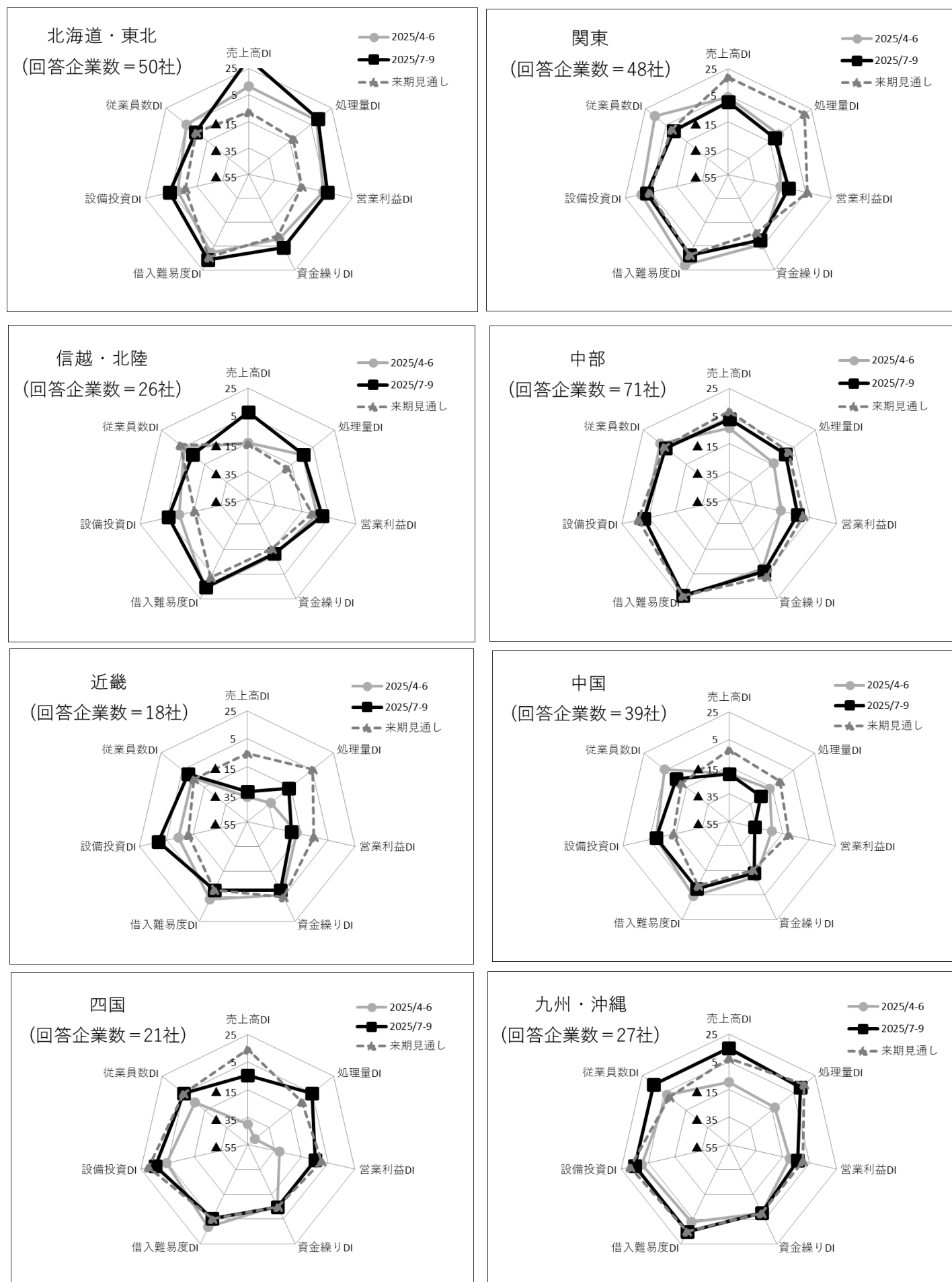
設備投資DI (2024年7-9月期～2025年7-9月期と見通し)



従業員数DI (2024年7-9月期～2025年7-9月期と見通し)

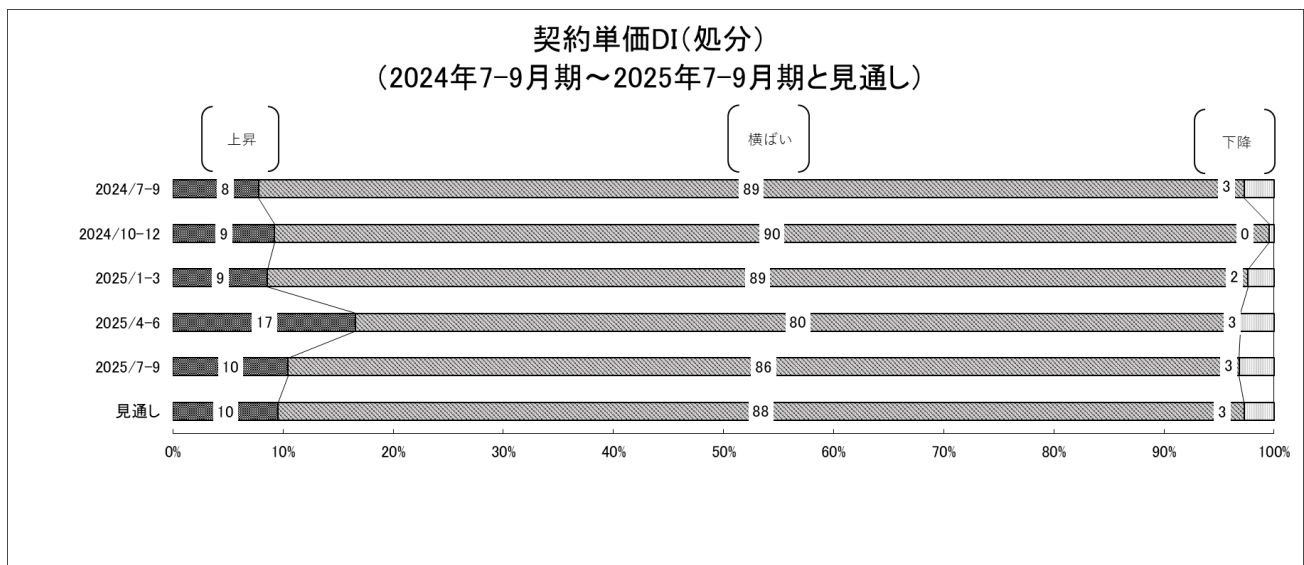
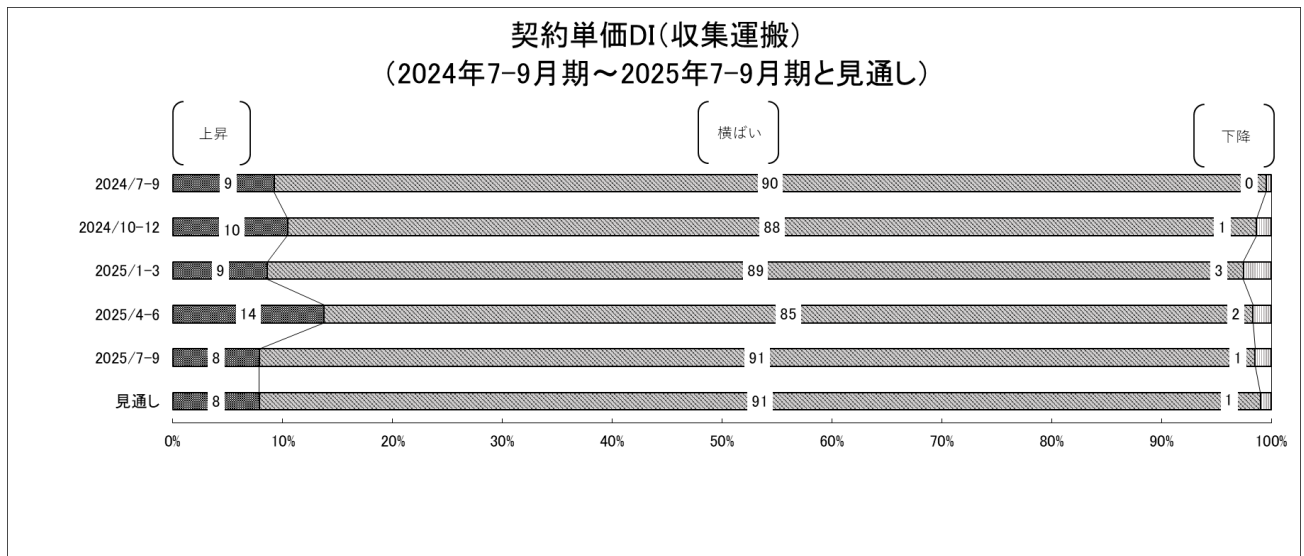


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 7 となり、前期と比べて 5 ポイント悪化した。
見通しは 7 となり、同水準の見込みである。
- 処分の契約単価 DI は 7 となり、前期と比べて 7 ポイント悪化した。
見通しは 7 となり、同水準の見込みである。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、4.3%減となった。

有効回答数:74 社

単位:千円

前年売上高	2024 年 7 月	2024 年 8 月	2024 年 9 月	平均
	5,274,423	7,499,387	5,178,397	5,984,069
今年売上高	2025 年 7 月	2025 年 8 月	2025 年 9 月	平均
	5,888,445	5,453,204	5,832,597	5,724,749
前年比	11.6%	▲ 27.3%	12.6%	▲ 4.3%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、24.9%減となった。

有効回答数:74 社

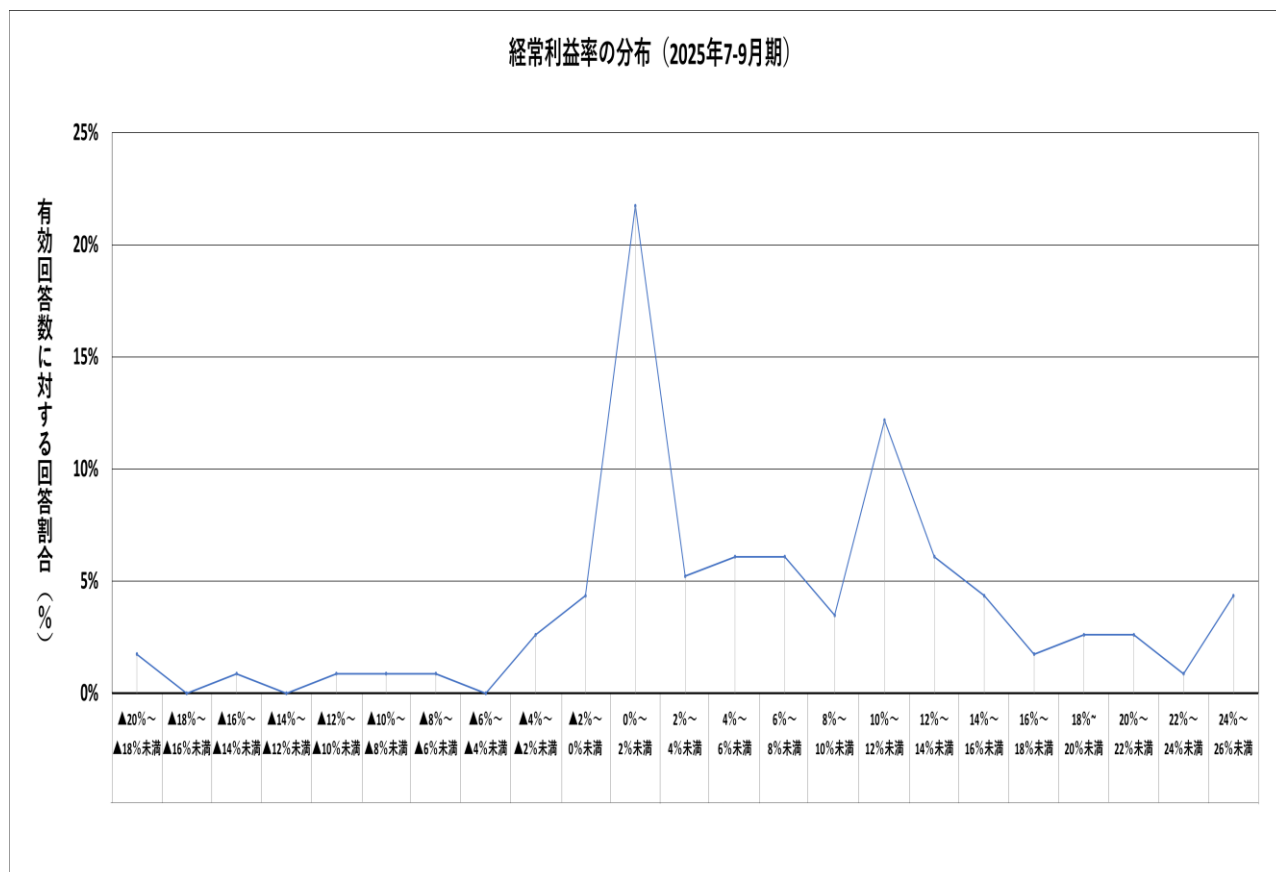
単位:トン

前年処理量	2024 年 7 月	2024 年 8 月	2024 年 9 月	平均
	177,537	180,934	306,166	221,546
今年処理量	2025 年 7 月	2025 年 8 月	2025 年 9 月	平均
	164,355	160,054	174,932	166,447
前年比	▲ 7.4%	▲ 11.5%	▲ 42.9%	▲ 24.9%

4. 経常利益率（経常利益の対売上高比率）

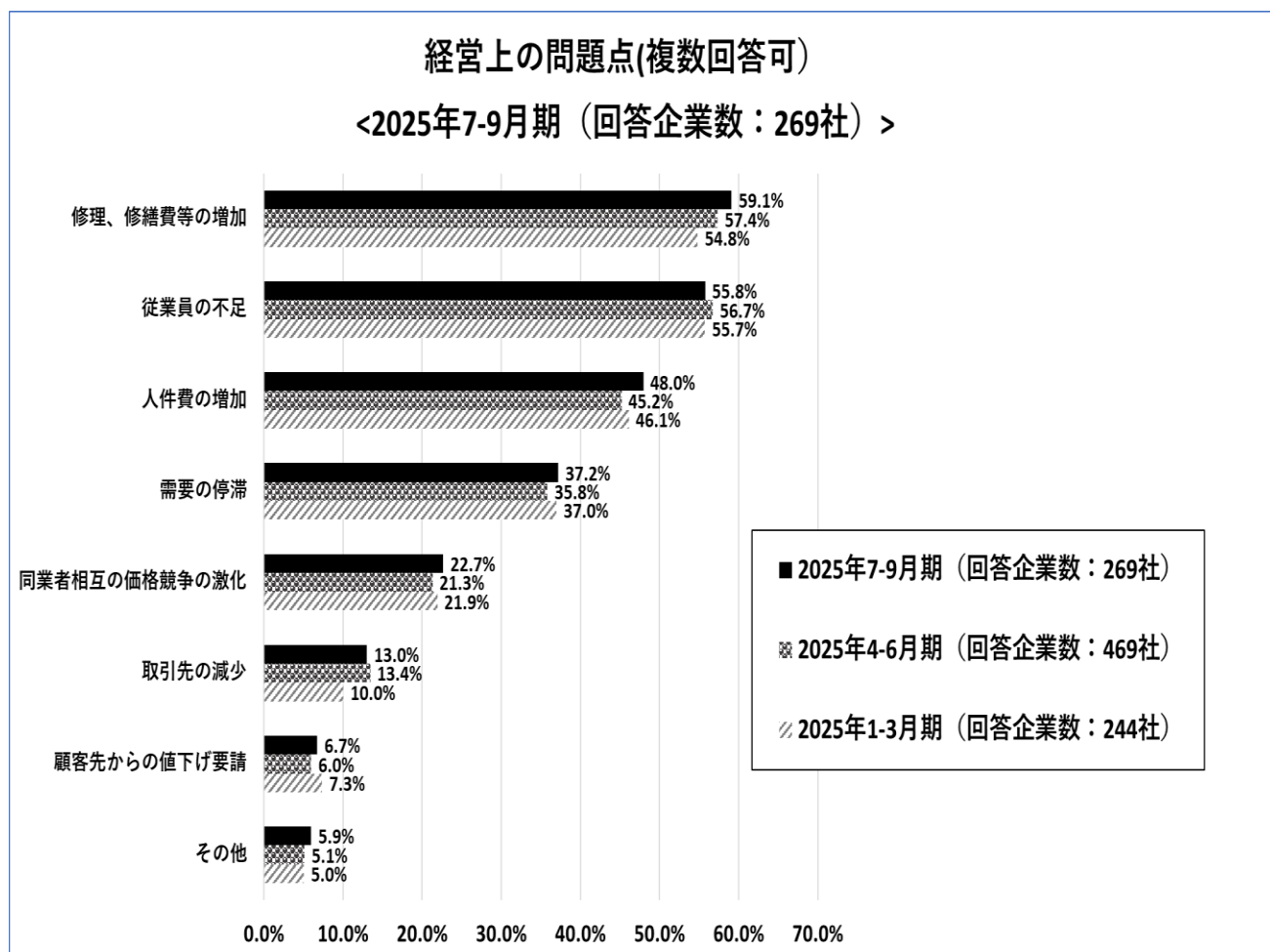
- 経常利益率の平均値は 9.9% となり、前年同期比で 3.2% 増となった。

有効回答数：115 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も多く、「従業員の不足」、「人件費の増加」の順となっている。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・ 光熱費、燃料費、材料費、修繕費の高騰
- ・ 従業員の高齢化
- ・ 若手社員、中間管理職の不在
- ・ 単価値上げ交渉
- ・ 最終処分場の受入制限及び値上げ
- ・ がれき類、木くず等の入荷量減少
- ・ 再生品の出荷量減少

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2025 年 10 月 1 日～11 月 7 日

(3) 調査方法

Web によるアンケート

(4) 回答数・回答率

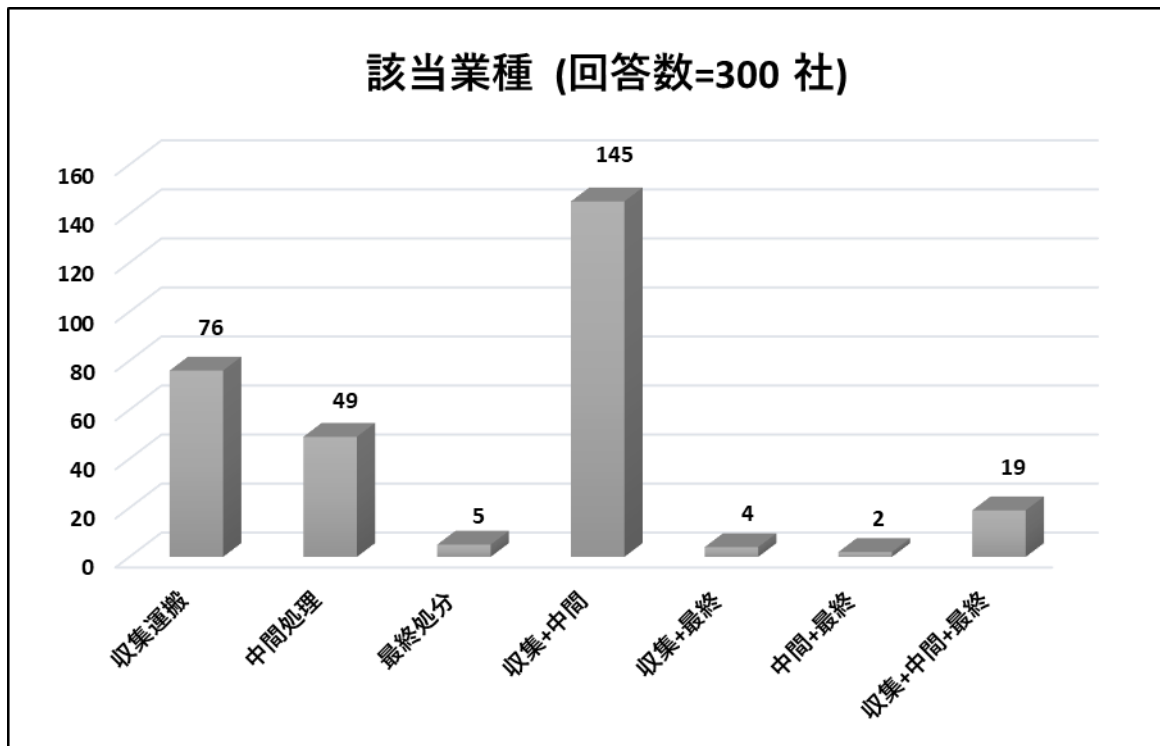
回答企業数 300 社

(5) サンプル構成

① 地域別構成

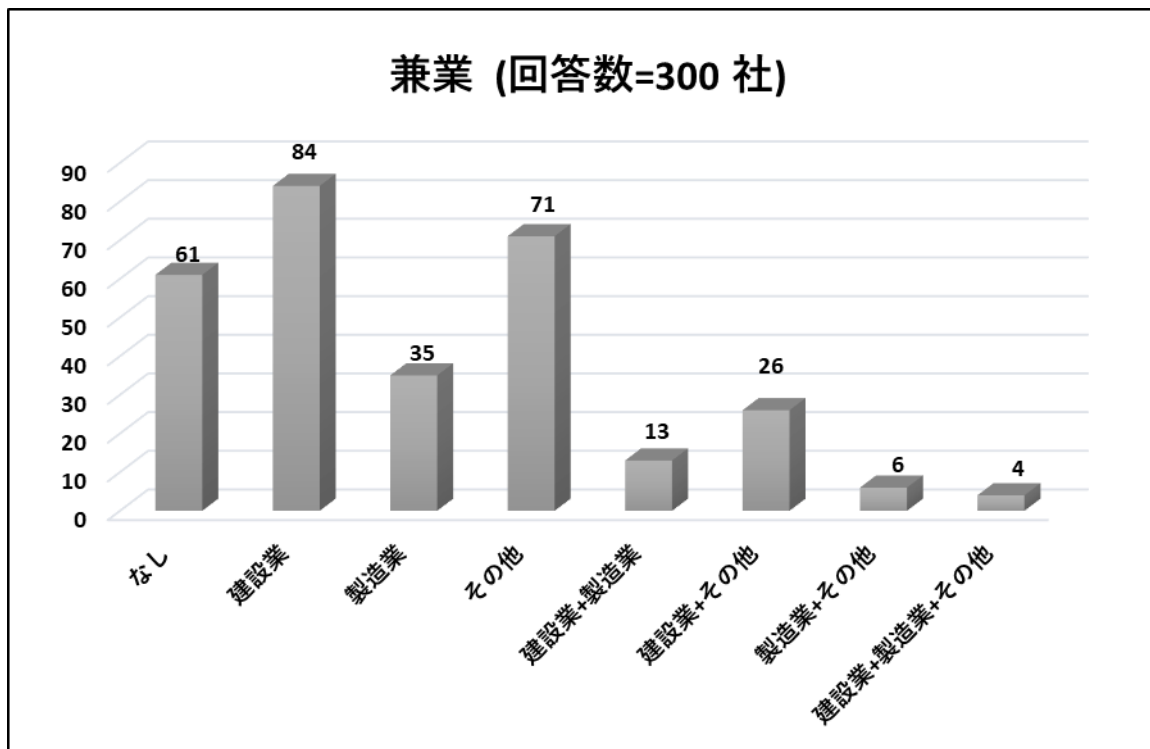
地域	企業数	構成比
北海道・東北	50	16.7%
関東	48	16.0%
信越・北陸	26	8.7%
中部	71	23.7%
近畿	18	6.0%
中国	39	13.0%
四国	21	7.0%
九州・沖縄	27	9.0%
合計	300	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	76	25.3%
中間処理	49	16.3%
最終処分	5	1.7%
収集+中間	145	48.3%
収集+最終	4	1.3%
中間+最終	2	0.7%
収集+中間+最終	19	6.3%
合計	300	100.0%

③ 兼業別構成



地域	企業数	構成比
北海道・東北	50	16.7%
関東	48	16.0%
信越・北陸	26	8.7%
中部	71	23.7%
近畿	18	6.0%
中国	39	13.0%
四国	21	7.0%
九州・沖縄	27	9.0%
合計	300	100.0%